

調査実施のお知らせ

調査課題名：急性期病院一般病床における院内デイケアの取り組みについて

調査期間：令和5年9月～令和6年3月 令和6年9月～令和7年3月

仙台市立病院では、上記課題名の調査を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報の調査利用について、以下に公開いたします。

【調査対象となる方】

令和5年9月～令和6年3月に、当院9階西病棟に入院され、院内デイケアに参加した方

令和6年9月～令和7年3月に、当院7階東病棟、9階に西病棟に入院され、院内デイケアに参加した方

【調査の目的と意義】

せん妄は、合併症の発生率や死亡率の上昇、入院期間の延長との関連が深く、患者の回復を遅らせ、予後不良の可能性が示されています。

当院は、高度急性期病院であり、高齢者が救急搬送されるケースが多く、今後も増加することが予想され、せん妄対策は重要課題であると考えています。

せん妄の予防及び改善を図る目的で院内デイケアを実施したため、その効果と今後の展望に向けて考察するための一助といたします。

【調査の方法】

診療記録を用い、後方視的に患者さんの状態について考察します。

【調査に用いる試料・情報の種類】

診療録に記載された診療情報、看護記録を、調査に使用させていただきます。使用に際しては、倫理的指針等により個人情報情報を厳重に保護し、調査結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する調査であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等也没有ありません。

【調査の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います。

【お問い合わせ先】

今回の調査では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問い合わせ」へ遠慮なくご連絡ください。また、今回の調査に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合わせ先】

仙台市立病院 看護部

代表 022 - 308 - 7111

調査責任者 看護師 吉田慎吾